

〈研修スタートから一ヶ月が過ぎました。〉

長野県から、研修に参加しています、秋吉 新介です。

4月3日から研修に入り、間もなく2ヶ月が過ぎようとしています。

農業と全く接点の無い仕事から、心機一転、有機稲作を勉強するきっかけになったのは、原発事故です。

事故をきっかけに、今まで流してきた事柄に向き合う様になり、真剣に将来を考えました。

そんな時、以前から有機稲作をしていた父親から誘われ、簡単な手伝い程度でしたが、徐々に興味を持ちました。

父親のまわりのいろんな方々と話す内に、残りの人生を何か人の為になる事をしよう！と思いました。

そんな時に、稲葉先生の所で研修生を募集している事を知りました。一から学び、父親や同じ目標を持つ仲間たちと日本の有機稲作で、貢献していきたいです。

今、稲葉先生の下で技術を学べる事に喜びを感じています。

来年春までの一年間、一生懸命頑張りますので、関係者の方々、ご指導の程、何卒よろしくお願ひいたします。

稲作、めっちゃ楽しいですわ！



写真は長期宿泊研修生2名とポイント研修参加者が初めて取り組んだ有機栽培の苗づくりです。プロの有機農家でも失敗の多い苗づくりですが、この方法は学校や消費者のみなさんでもベランダや校庭の片隅で育てられる方法です。近い将来農業者が激減します。そんな時に家族の食料は家族で作れるという技術が必要になります。



家族と一緒に、楽しみながら10m×10mの区画（1アール）で「いのち育む有機のお米をつくる」というのは如何でしょうか。今年の6月30日（土）「田植体験」があります。ご参加ください。

そこでみなさまのご意見をお聴きし、来年 企画してみたいと思います。